

密集住宅市街地火災対策に資する資機材等の開発・活用検証テーマ

背景・意義等	<p>消防庁では、令和7年11月18日に発生した大分市佐賀関における大規模火災を踏まえ、密集住宅市街地における大規模火災に対して、今後取り組むべき火災予防、消防活動、避難行動、装備・技術の充実強化のあり方等について検討するため「大分市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を、国土交通省と共同で開催している。</p> <p>この検討会において、密集住宅市街地における火災については、狭隘道路での迅速な消火、延焼拡大防止、延焼拡大状況の把握等に資する新たな装備・技術の充実の検討が必要であることが取り上げられた。</p> <p>こうした状況を踏まえ、密集住宅市街地火災対策に資する資機材等の開発・活用検証が必要である。</p>
最終的な完成品のイメージ	<p>＜研究開発の例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭隘道路での迅速な消火に資する技術の開発 ・延焼拡大防止に資する技術の開発 ・延焼拡大状況の把握等に資する技術の開発
備考	<p>＜参考資料＞</p> <p>大分市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会 第1回資料4 大分市大規模火災における消防活動等の概要 https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/post-186/01/shiryou4.pdf</p>